

令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

下野市立南河内小中学校

日時 11月27日(水) 13:00~

参加者 学校運営協議会委員

慶野 正司 様 齋藤 仁志 様 野口 幸一 様 原 安礼 様

海老原 忠 校長 岡本 直美 教頭 稲見 雄太 教頭

高橋 由枝 教諭 上野 達也 教諭 黒崎 智照 地域連携教員

地域学校協働活動推進員 上野 保久 様

欠席者 荻原 剛 様 坪山 仁 様 川田 玲子 様 阿部正明 地域連携教員

会次第

1 開式の言葉(教頭) 日程説明

2 全校共遊参観

室内(教室) 第一グラウンド

3 会長挨拶

4 協議

①全校共遊参観の感想

- ・1~9年生の活動の中で、前期課程の児童特に6年生がよく声を出してリーダーシップを発揮していた。笑顔で活動していたことが印象的だった。
- ・楽しそうでよい。思い切り投げたボールが低学年の子に当たっていたが、柔らかいボールなら問題はないのか。
- ・1~9年生と一緒に活動する機会があることに感動した。ゲームや運動見ていると、年上の学年の子が小さい子を気遣って活動していた。また、清掃も同じグループでやっているということで、素晴らしいと思った。他の活動もいろいろやれるとよい。
- ・小さい学年の子に上級生がボールを渡す気配りがあった。兄弟の少ない時代なので、こうした機会は今後も大切にしたい。
- ・全体的に、以前よりボールを投げる力が強くなったと感じる。しかし、当たった児童の方も泣かなくなった。子ども達みんなの成長が見える。それでも目に当たるなどの配慮は必要である。

②これまでの教育活動について

- 残り4ヶ月。様々な学校行事滞りなく行えている。子ども達の活躍の場を通して成長が見られ、うれしく思っている。
- 夕顔祭も充実した行事になった。大きな行事はおおよそ終了したが、今後も学年毎の行事は目白押しである。
- 6年生児童表彰式、来年度入学予定児の就学時健診、前期課程の持久走記録会などがあつた。この後は、12月に5年臨海自然教室、1月に8年スキー宿泊学習。また、来年度の児童生徒会選挙も予定されている。部活動も新体制となった。9年生は、受験モードに入っている。私立高校への出願等も始まっている。多忙な中でも、授業はしっかり行うことを教員一同心がけている。
- 国語の教員が一人傷病休暇中。非常勤の教員に授業のみ行ってもらっている。終日仕事ができる方を今も探している。もし国語の免許を持っている知り合いの方がいたら教えていただきたい。
- 教員も宇大教授を呼んで授業研究会を実施している。
- 子ども達の学びを支えている様々なサポートに感謝している。
- スキー学習はどこへ行くのか。→ 福島県猪苗代

③夕顔祭について

- 10月末（金）（土）の二日間
 - <1日目> 1～9年生の交流会
 - 1～6年は学年発表 7～9年は全体合唱発表等
 - 1～9年が全員体育館に入ると目一杯になるため、保護者の参観はなし。
 - <2日目> 後期課程 合唱コンクール
前期課程 校内でウォークラリー
保護者にも参観していただいた。
- PTAからの販売はあるのか。
→販売は行っていない。

④その他

- インフルエンザやコロナはまだいるのか
→ 今のところまったくと言ってよい程いないが、昨日インフルエンザが1名。
- このまま行けるとよい。
- 椅子に掛かっている防災頭巾は全員あるのか。
→ 現在1～7年生。あと2年すると全学年そろそろと思われる。企業（誠和）さんから寄贈していただいている。
- 昼休みは全員外へ出るのが。→ 外へ出るとどうかは個人の自由

- 野球部は坊主頭にするなど、校則はあるか。
 - 特にないが、集団生活にふさわしい髪型にしようという約束はある。
- 不登校のついて。いじめではなくなんとなくやる気が無いという子が増えていると聞く。先生方も大変だと感じている。
- 昼休みは個人の自由というが、クラス単位で何かすることも可能か。
 - 可能である。ロング昼休みの日は、クラス遊びをしている学級もある。
- 夕顔祭 1 日目の交流会の様子をライブ配信などで保護者が見られるよう工夫はできないか。
 - 他校でライブ配信を業者に委託していた例では、数十万円かかる。
- 教職員や PTA でライブ配信に協力できる人はいるか。(得意な方を募るとよいか)
- メディア NG としている家庭もある。学校便りを掲載する際にも写真を全部チェックしている。
- 2 日目に、1 日目の録画を校内で見せることは可能か。
 - 可能である。授業参観時に、学年の発表動画を保護者に見せている学年もあった。ただし、教員だけでは難しいところもある。学校の活動について地域で協力して下さる方が増えていくとありがたい。
- 全国的に部活動の地域移行が始まっている。地域の方の中に部活動指導に興味を持って下さる方はいないか。探すことが非常に困難である。
- 土日に先生方の手を煩わせずに指導してくれる方ということか。
 - 大まかにいうとそういうことである。手当を市教委で予算立てしている。
- 土日を練習なしにはできないのか。
- 全くなくすることは難しい。平日の時間も限られており、土日で補っている部分がある。土日に練習試合などを行うこともある。ただし、土日のどちらかは休みにしている。
- 地域の方が土日にぼつりと指導にやってきた場合、子ども達とうまく意思疎通がとれるのか。
 - 仰る通りで、一度に全部というのは無理がある。ある程度の期間は必要で、少しずつ委託していく。子どもの不利益にならないように。
- 地域移行は、平日も行うものと認識していたが。
 - 学校としては、それが理想である。土日だけ他の方というのは難しいと思っているが、徐々にという捉えでいる。まずは、人材の確保が必要。
- 学校で指導者を見つけるのか。市教委で見つけてリストアップしないのか。
- 市教委は、手詰まり状態と思う。それでも進めていきたいという意向である。
- 教員も必ずしも自分が得意な部活動に関わるとは限らない。まずは、そうした部活から委託に移せるといいのでは。
- 短期ではなく、長期にわたって指導に関われる方が望ましい。
- 探していることを広報誌等に掲載していないのか。

→いない。

- 本来は、市教委で人材バンクをつくっていくのが望ましい。学校側で探すのは難しいと思う。逆に市に依頼することが必要なのでは。
- 学校で探せというのはさすがに厳しいのではないか。あまり市の本気度が感じられない。
- 子どもを預かる以上責任が発生する。そういった観点からも市の方で取り組まなければならない案件ではいか。
- どの行政団体も、文科省から下りてきているので難しさを感じる。市内全部そのような状況なので、何かの折りに指導者を探している話を広めていただきたい。
- 毎日公仕が校庭の草むしりなど環境整備をしているが、どうにもならない規模で草を取り除くことが難しい。よい方法はないものか。
- 除草剤まきなどを地域の方に御協力いただくのは、学校としてどうか。
- 除草剤が一番容易。ただし、安価な除草剤は発がん性物質が入っていることも。農耕地にまいてもよい価格の高い除草剤なら安全かと思う。
- 塩をまくのはどうか。水に溶いてまく。津波の塩害を逆手にとるとよいのでは。
- 農耕地用は速効性はあるが、根まで枯らすのは難しい。
- 一つ一つむっしてはきりがない。除草剤がよいのでは。
- 除草をしなくてはだめなのか。
 - 雑草が多いと遊ぶスペースがなくなる。走れない。
- ヤギやニワトリがいるとよいが。
- 9月あたりに PTA 奉仕作業があったが、第 1 グラウンドまで手が回らない。年 1 回では足りない。
- 安全性のある除草剤を地域の方に協力していただいてまくという方向性がよいか。やってくれる人を募れるとよい。
- シルバー人材へ依頼はできないか。
 - できるが、お金がかかる。
- 今のうちに対策できることはないか。
- 粒のタイプの除草剤なら今からやってもよい。(周囲に木が無ければ)
- 「根こそぎ」除草剤はよい。ただ、かなりコストがかかると思う。

5 閉会の言葉（教頭）

第4回予定 令和7年2月5日(水) 9:30～ メモリアルルーム